

DNAR プロトコールは、心肺蘇生を行わないことを患者またはその代理者が決定するための医療プロトコールです。

### DNAR の定義

DNAR は「Do Not Attempt Resuscitation」の略で、心肺停止に至った際に心肺蘇生法を行わないことを示します。これは、患者本人またはその代理者の意思決定に基づいており、特に蘇生の見込みが低いと考えられる場合に適用されます。

### 適用状況

DNAR プロトコールは、以下のような状況で適用されます：

末期の病状：がん末期や老衰など、心肺蘇生を行っても効果が期待できない患者に対して、心肺蘇生を行わない選択をすることができます。 |

患者の意思：患者本人が心肺蘇生を希望しない場合や、家族がその意思を確認した場合に適用されます。

### 医療現場での実施

DNAR プロトコールは、医療者が患者の意思を尊重し、適切な判断を行うための指針として機能します。具体的には、以下のような手順が含まれます：

意思確認：患者またはその代理者が DNAR の意思を明確に示す必要があります。

医療者間の合意：DNAR の指示は、医師や看護師を含む多職種の間で確認される必要があります。

緊急時の対応：救急隊は、心肺停止の状態を認識した場合、原則として心肺蘇生を実施しますが、DNAR の意思表示がある場合はその指示に従います。

### 注意点

DNAR プロトコールは、患者の意思を尊重するための重要な手段ですが、医療現場では誤解が生じることもあります。特に、DNAR がすべての治療を行わないことを意味するわけではなく、他の治療（人工呼吸器や薬剤投与など）は引き続き行われることがあります。

このように、DNAR プロトコールは、患者の最終段階における医療の選択肢を明確にし、医療者が適切に対応できるようにするための重要なガイドラインです。